

担当 《 音楽 》

武蔵野市立第五小学校

<p>学力調査と学校経営方針からみた授業改善の方向性【言語活動の充実】</p>	<p>各教科等における言語活動の充実を中心とした指導の実際</p>
<p>《 学力調査から 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「聞くこと」は高い意欲があり、「交流」を活用するとよい。</li> <li>○「身の回りのことをグラフや表で整理して考える」活動を各教科で推進する。</li> <li>○「分からないことや興味をもったことを進んで調べる」活動などを発展的な学習に入れる。</li> </ul> <p>《 言語活動の充実に向けて 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体験から感じ取ったことを表現する</li> <li>②事実を正確に理解し伝達する</li> <li>③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり、活用したりする</li> <li>④情報を分析・評価し、論述する</li> <li>⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する</li> <li>⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる</li> </ul> <p>《 言語活動の指導の在り方 》</p> <p>(1)知的活動(論理や思考)に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事実を正確に理解し、他の人に的確に分かりやすく伝える</li> <li>○事実等を解釈し説明するとともに、互いの考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させる</li> </ul> <p>(2)コミュニケーションや感性・情緒に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの存在についての理解を深め、尊重していく</li> <li>○感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりする</li> </ul>	<p>○学習の見通しと学習の振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動黒板にめあてや重要な語句を表示することにより学習の見通しをもたせるようにする。</li> <li>・授業に関するアンケートを学期末に行い、一人一人の思いや願いを把握する。</li> <li>・授業の最後の5分間にその日に学習した曲を本時の目標を確認しながら演奏する。</li> </ul> <p>○言語環境を整える工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽用語や記号を教室に掲示し、日頃より身近に見られるようにしておく。</li> <li>・音楽用語や楽器の名前などの理解を高めたうえで、その語を使った話型を提示し、繰り返し使用することで音楽的な内容を言葉を使って説明したり、表現したりできるようにする。</li> </ul> <p>○自分の考えをもたせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の演奏を聴くときに常に良いところを見つけ「自分なら、さらにどんな工夫ができるか」を考える習慣を日頃から育てる。その考えの中から自らの演奏に生かせるところを見つけ、演奏を工夫する。</li> <li>・自分の考えを持ち、段階的にその考えを発展させ、発表し合うことによりその考えを広げ、応用力を養っていく。</li> </ul> <p>○言語活動の具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、順番にクラスの歌の演奏を聴く機会を設け、その感想を述べる。</li> <li>・2人組でリコーダーの練習をし、話し合いながらお互いの演奏を高める。</li> <li>・友達の演奏を聴き良いところの発表をする。</li> <li>・グループでアンサンブルをするときに話し合っ、楽器の組み合わせを考えたり、演奏の工夫をしたりする。</li> <li>・鑑賞の際、感想を書くだけではなく、音楽家やその曲の背景などを説明し、理解したことや初めて知ったことなどを記入することで、音楽独特の言語表現に親しんでいく。</li> <li>・挨拶や発言のルールなどを定型化することにより、いつでも表現に使えるようにする。</li> </ul>